

平成31年2月5日
宿毛漁業指導所

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、環境調査と並行し、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるアカシオ サンガイネアが最大0.03細胞/ml確認されました。基本的には無害なプランクトンですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、魚介類を弱らせてしまう可能性があります。

また、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウムカテナータムが最大0.22細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	アカシオ サンガイネア	ギムノディニウム カテナータム
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)		
藻津② (別図⑩) 採水時間 9:19 透明度 - m	5.0	18.5	34.7	6.6	0	0
藻津① (別図⑨) 採水時間 9:24 透明度 - m	5.0	18.5	34.7	6.6	0	0
大島中央① (別図⑤) 採水時間 9:32 透明度 - m	10.0	18.6	34.7	6.6	0	0
小筑紫中央① (別図⑬) 採水時間 9:39 透明度 - m	5.0	18.6	34.7	6.5	0.02	0.02
白簗 (別図④) 採水時間 9:52 透明度 - m	5.0	18.4	34.6	6.6	0.01	0